

まきばでひとやすみ

昔、実家にズラリとあったカセットテープの中に、幼い頃の私と兄のおしゃべりが録音されたものを見つけました。おそらく、3、4歳頃のもので、何てことない日常のやりとりや歌が録音されており、最初に聞いた時は、その会話の面白さ、可愛らしさに大笑いし、それを録音してくれていた母に感謝しつつ、大好きな宝物の1つになりました。時々聞いてはあどけない自分達の様子に心が和み、いやされたりして。大切に持っていたのですが、我が長男が幼い頃にそのカセットのテープをめちゃくちゃにひっぱり出して元に戻すことができない状態になってしまいました…。が、幼い兄の、薬のCMの歌を母に歌わせるシーン、母の歌う声、そして私がラジカセに向かって自分の名前を呼ぶ声、などはきりと頭の中に残っていて、自分の記憶にはないのにくっきりとその場面が思い浮かべることができるのでした。今はいつでもどこでもスマホで簡単に録画や録音ができるようになりました。子ども達を何気なく撮っているけれど、後になって見返してみても本当に面白いのは何てことない日常の、他愛もない会話や即興の歌だったりします。おすました写真、何かの発表会や運動会の動画や旅行の写真も、もちろん大切で素敵な思い出です。だけど、普通に見える日々の中にあるキラッとしたユーモアや、おかしなやりとり、それは1年後にはもうなくなっていたり、形が変わっていきます。それはつまり成長であります。残っていないと絶対に忘れてしまうものです。だから、小さい子がいる家庭ではできるだけ「何てことない」ように見えるものも記録することをオススメします。今年も私達はどうなるかわからない世界に生きていますが日々の何てことないことが、どれだけ素晴らしいか、忘れずにいたいと思います。

